



ドネツク州  
ルガンスク  
ロシア  
ウクライナ  
キエフ  
ハリコフ  
ドネツク  
黒海  
クリミア半島  
100km

全確信のため平和維持部隊の派遣をロシアに求めることも決めた。ただ人民会議の法的根拠は不明で、新政権が任命したドネツク州のタルタ知事は7日、「国家施設を占拠した人々による決定は違法だ」と述べ、州庁舎の明け渡しと正式な州議会の開催を求めた。

陸を占める連邦軍など求める大規模なデモを親ロシア派住民が実施。デモ隊はドネツクとハリコフの州政府庁舎を占拠し、ルガンスクでは保安庁(国家保安機関)の州支部を占拠した。ハリコフ州とルガンスク州でもロシア編入に向けた住民投票を計画している



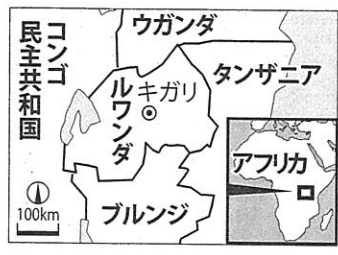
占拠したドネツク州政府庁舎内にバリケードを築いた親ロシア派住民たち7日、AP

# ルワンダ虐殺20年

# 民族融和 進む復興

## 首都で式典 周辺国と摩擦課題

【ダーバン(南アフリカ東部) 服部正法】  
アフリカ中部ルワンダで約80万人が犠牲となった大虐殺の発生から7日で20年となり、首都キガリで大規模な追悼式典が営まれた。  
大虐殺は、ハビヤリマナ大統領(当時)の乗った航空機が199



4年4月6日、キガリで撃墜されて大統領が死亡したことが発端。多数派のフツ人が主導した当時の政府軍やフツ人過激派民兵が扇動し、翌7日から同年7月までに少数派のツチ人やフツ人穏健派など約80万人を虐殺し



7日、ルワンダの首都キガリで開かれた追悼式典で「追悼の炎」に点火する潘基文・国連事務総長(中央手前)とカガメ・ルワンダ大統領(中央左)＝AP

た。式典では1月から国内各地を巡った追悼の灯火が会場に到着し、カガメ大統領によって「追悼の炎」が点火された。炎は、虐殺が行われたのと同じ100日間、燃やされ続ける。一連の式典には国連

の潘基文事務総長ら海外の要人が参列した。大虐殺は、当時のツチ人反政府組織「ルワンダ愛国戦線(RPF)」が全土を制圧して収束。RPFを率いてきたカガメ氏が2000年から大統領を務める。近年、ルワンダは年率8%前後の成長を続ける。「フツ」「ツチ」などの区分よりも「ルワンダ人」意識を定着させる手法で融和も進めてきた。復興を導き民族和解に尽力するカガメ氏の政治手腕は、欧米などから高く評価されている。

【台北・鈴木玲】台湾が中国と昨年定めた「サービス暫定」の承認に反対する学生らが台北市の院(国会)議場を占拠している問題で、その代表が7日記者会見し、10日午後6時(本時間同7時)から退去すると宣言した。学生側は退去の理由について、一定の成果を得るまで、学生側が蓄積したエネルギーを全住民の運動に注ぎ、立法院から台

# 教訓生かし行動を

ルワンダ大虐殺20年を受け、国連の潘基文事務総長が7日、毎日新聞に寄稿した。

◇

ルワンダとボスニア・ヘルツェゴビナの大虐殺は、国際社会の大きな失敗だった。ルワンダでは毎日平均1万人が3カ月間にわたり

## 国連事務総長、本紙に寄稿

殺害された。この恐ろしい出来事を教訓に、国際社会は重要な歩みを進めた。国際刑事裁判所の設立に象徴されるように、今は罪を犯した人間を見逃すことはない。ルワンダ国際犯罪法廷などの国際法廷は責任を追及し、さらなる戦争犯罪を抑止する役割を担っている。その証しがルワンダの元首相に対する有罪判決だ。国連は暴力から市民を守る活動を進めている。積極

的な平和維持活動は、コンゴ民主共和国東部で武装勢力を負かし、南スーダンでは国連の施設に数万人の人を保護した。20年前には考えられなかった活動だ。こうした施策は、ルワンダの教訓から学んだものだ。だが、こうした活動は困難に直面してきた。シリア問題では3年以上、国際社会が分断されたままだ。必要な人道支援も一部にしか届かず、砲火は激しさを増す一方だ。しかし、国際社会の無関心や決断力のなさがもたらす結果は明白だ。中央アフリカ共和国は10

年以上、国際社会に窮状を訴えてきた。国家崩壊や大量殺りくに苦しんでいる。命を救い、人々が住み慣れた街に戻るよう国際社会に軍事支援を求めたい。暴力が拡大すれば、さらに広範な地域が巻き込まれる。世界の指導者は悲劇を防ぐため、もっと行動すべきだ。そして、世界中の人々には、シリアから中央アフリカまで苦境にある地域に思いをはせ、人権と尊厳が重んじられる世の中を作るため、何ができるか自分について考えてほしい。

【訳・中西啓介】  
王金平院長(議)が6日、3月18日抛開始以来初めてを訪れ、退去を求めるとともに、学生側み寄る形の議会連進める意向を示し



潘基文事務総長



# 空母

米国防長官  
中国、  
【北京・石原崇一】  
1日、中国を訪問し、国初の空母「遼寧